

年中行事には是非ご参加ください

年中行事（正月祈禱・春秋彼岸・お盆法要）には是非ご参加ください。お盆の法要（おせがき）は近在の和尚様方

が出頭されて厳肅に行われます。春と秋の彼岸は、工夫をこらした催し物をしています。正月祈禱は一年をすがすがしい気分始めるための10分ほどの法要です。本堂はすべて椅子席です。お墓参りをするだけでは供養にはなりません。寺での行事にご参加ください。

お参りはご家族そろって！

理解いただけます。

寺やお墓参りはご家族でお参りください。自然と親から子へ、子から孫へと引き継がれます。寺との関係も自然と

年忌法要後の食事は寺でもできます

壇信徒会館（三階建）は、年忌法要後のお食事にお使いいただけます。壇信徒会館の二階は椅子席で十八席。三階は畳に座布団で四十名くらいまで会食できます。出張して食事を用意してくれる店もご紹介できます。

各家の墓所の改修等について

各家の墓所を大きく改修する時は、施工する石材店に工事をする上での注意事項などがありますので、寺にご連絡ください。

なお、墓地を整備したため、十力所ほどの新しい区画があります。ご親戚やお知り合いが必要とされる方がおられましたら、お領けすることが出来ます。詳しいことは寺へ直接連絡ください。

予告／BS日テレで片山師の節語り説法

昨秋の彼岸に節語り説法をしてくださった気仙沼の地福寺・片山秀光師の説法がテレビ放映されます。芥川賞作家の玄侑宗久師が案内役を

している「日本100巡礼」（毎週水曜日20時～20時54分／BS日テレ）です。1月初旬に厳寒の気仙沼で玄侑師も出向して収録したと聞きました。未だ放映日が発表されていないようですが、3月中とのこと。通常はゲストの女優が各地を訪れる番組ですが、今回は女優なしで、玄侑師の法話がたっぷりとか。玄侑ファンには必見の番組です。

別紙に「霊園管理費のお願い」と奥州観音巡礼の申込み書があります。

編集後記

〇襖絵を流れる群青色をお見せしたかったので、今号の裏面はカラー印刷にしました。世の中の印刷物がおおよそカラーになって今、カラーにカラーで対抗しようがない。かえってモノクロの方が人目を引くから普段は白黒印刷です。文字もワープロ文字ではなくて、筆とか万年筆で書けばもっと目立つのですが……。

〇ワープロ文字といえば、お正月にお届けした年間予定で「奥州観音巡礼」の日にちが間違っていました。正しくは、5月25日・26日です。昨年も京都旅行の期日を間違えてヒンシュクをかけたので、気をつけていたのですが、またやってしまった。旧年の暮れに原稿を書くので、新旧のカレンダーが混在していて間違えてしまう。などという言い訳は見苦しい。カレンダーのせいではなくて、頭が混沌としているのが原因ですが。

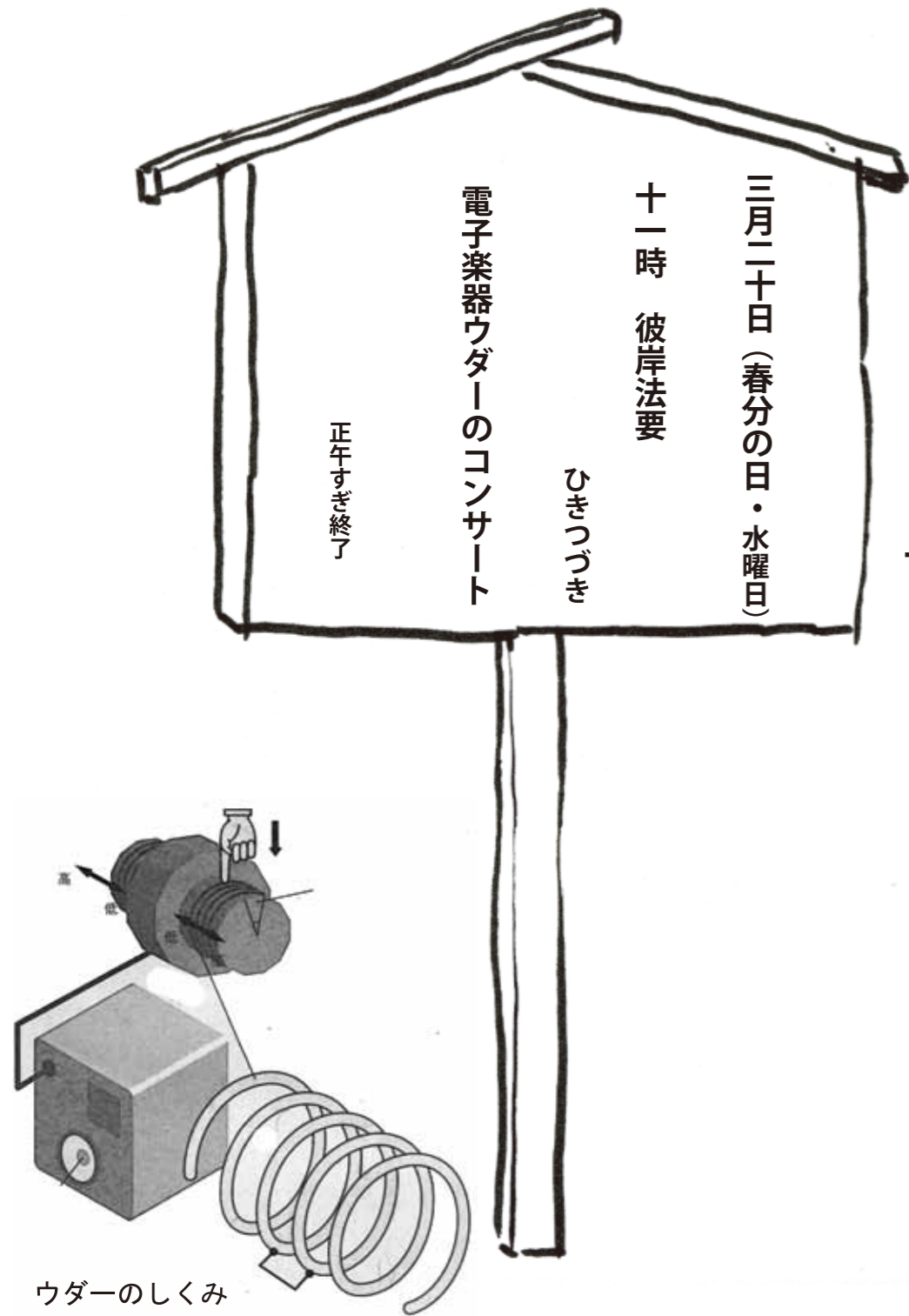
〇混沌といえ、新しかったものがすぐに古くなり、古いものが新しくなる今です。パソコンなんてもう古い。Eメールも新しくはない。ツイッターにフェイスブックにLINEとなると危なくついていけない。危ないといえば、スマホの画面を見ながらゆっくりと駅の階段を降りていく若者の後ろ姿をみると、背中を蹴飛ばしたくなるからご要領。

〇節語り説法のテレビ番組を紹介しましたが、玄侑宗久師が次に語っています。「片山師は各地で公演しようですが、じつは地福寺さんの檀家さんの前では今回が初演になります。やはり檀家さん100人以上が亡くなった場所では、これまでなかなかできなかったのだと思います。私はそこに片山師の誠を感じています」。三年忌を迎える三月十一日です。（住職記）

昼食に粗飯をご用意いたします。ご出席の方は電話・FAX等でご連絡ください。

春の彼岸は法要後、電子楽器ウダーです。プロフィールには「ウダーは宇田道信さんがつくった電子楽器です。ネジの頭と頭をくっつけたような不思議な形をしています。円柱にらせん状にまかれたロープを指で押して演奏します」と、あるけれど文字の説明だけではよくわからない。図を見てもよくわからない。写真をもよもよわからない。よくわからないから、現物を見て、聴くしかない。ご家族でお越しください。おまちしています。

3月17日（日曜日）から20日（春分の日）まで、墓地では花と線香を用意しております。なお、霊園管理費のお願いが別紙にあります。ご覧下さい。



ウダーのしくみ 裏面にもう少し詳しく紹介しています

360-0815 埼玉県熊谷市本石 1-102

臨濟宗妙心寺派 松岩寺 住職 花岡博芳

tel 048-522-1812 fax 522-9189 www.shoganji.or.jp / chief@shoganji.or.jp